

## ”介護”で ”誤解”していませんか？ ありませんか？



NPO法人となりのかいご  
代表理事 川内 潤

### ●たった90秒の動画が 『カイゴのゴカイ』を解く!?

当法人「となりのかいご」では、初めて家族の「介護」を直面したときに、「誤解しがちな」よくある対応と「正しい対応」を解説した、たった90秒の動画『カイゴのゴカイ』を作成しました。

### ●みなさんは、次のような「介護の誤解」により、誤った対応をしていますか？

- (1)ある日突然、親が倒れた  
【よくあるゴカイ】  
でも、取りあえず大丈夫そう……。これから準備していこう
- (2)高齢の親が一人暮らし  
【よくあるゴカイ】  
将来の介護に備えて、一緒に住む
- (3)親がデイサービスを拒否  
【よくあるゴカイ】  
説得も限界。やっぱり家族で介護するしかない

(4)入院中の親から「退院したい」と言われた

【よくあるゴカイ】  
パートの奥さんに手伝わってもらって、親の気持ちを最優先

(5)介助するのは大変

【よくあるゴカイ】  
でも家族なんだから、つらいことはみんな分担

前述の【よくあるゴカイ】はすべて『カイゴのゴカイ』です!!

正しい対応は……

(1)ある日突然、親が倒れた

【正しい対応】  
倒れる前に地域包括支援センターに相談

(2)高齢の親が一人暮らし

【正しい対応】  
遠くの家族よりも、(プロも含めて)近くの他人

そのほかの

(3)親がデイサービスを拒否

(4)入院中の親から「退院したい」と言われた

(5)介助するのは大変

【正しい対応】  
の知識が得られる、動画『カイゴのゴカイ』でチェックしてみよう!

### ●『カイゴのゴカイ』を視聴して、 家族で意見交換を!

たった90秒の動画ですので、兄弟や親せきの方にシェアしていただき、動画『カイゴのゴカイ』を視聴し

て、感想を話し合うこともおすすめ。互いの介護に対する考え方について意見を出し合い、信頼関係を築いていくことは非常に重要です。身近な兄弟であっても、価値観が異なることが少なくありません。この意見交換からの擦り合わせが後手になると、いざという時の協力関係が築けないばかりか、対立を引き起こしてしまうこともあります。

### ●100人いれば、 100通りの介護

「介護」と言っても、「認知症」「脳梗塞」「転倒骨折」では介護の方法は異なります。また、家族に対しての直接の介護は、知識・経験のある介護職でも難しいといわれております。そのため、家族だけで介護を抱え込むことが、ベストな介護とはいえないのです。

懸命に介護に取り組んでいる方ほど、動画『カイゴのゴカイ』で【正しい対応】として挙げていることに、「それは理想論だよ」という感想を持たれるかもしれません。それは、すでにあなたが1人で介護を抱え込んでいる証拠です。そんなときこそ、「あなたが倒れたら大変」と一歩踏み込んだサポート体制を一緒に考えてくれるプロを探していただきたいのです。

### ●冊子『カイゴのギモン』も ご活用ください!

将来、親の介護などに不安を抱えている働く世代の人に向けて、

動画『カイゴのゴカイ』のご視聴

<https://www.youtube.com/watch?v=whptJUPcYSw>



冊子『カイゴのギモン』のダウンロードは

<https://www.tonarino-kaigo.org/download/>



はコレを読めば大丈夫」といった情報を掲載した冊子『カイゴのギモン』を作成しました(詳細は前回コラム記事をご参照ください)。非常に複雑な介護情報を15ページというコンパクトなページ数でまとめています。短時間で要点を押さえやすいように、介護のきっかけとなりやすい「認知症」「脳梗塞」「転倒骨折」から「よくある誤解」と「正しい理解」をイラストで解説し、専門家によるコメントを紹介。介護に関する将来の不安に対するQ&Aや、「介護で困った!」ときの相談窓口一覧など、必要な情報に焦点を当てて編集しました。家族の介護に直面する前に動画『カイゴのゴカイ』を視聴し、介護に直面したときはもう一度『カイゴのゴカイ』を視聴した上で、冊子『カイゴのギモン』を読む。これだけでも、あなたの介護に対する不安が和らぐはずです。